

Header information table including: 事務事業名 (福祉医療事業), 所属部 (市民環境部), 所属課 (市民生活課), 政策名 ((Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち << 保健・医療・福祉 >>), 所属G (生活グループ), 課長名 (須田 弘), 施策名 ((20) 地域医療の充実), 担当者名 (安部 裕子), 電話番号 (0854-40-1031), 基本事業名 ((061) 医療行為を受ける機会の保障), 予算科目 (011501 福祉医療事業).

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

Summary table for (1) 事業概要 including: ① 事業期間 (単年度のみ / 単年度繰返), ② 事業内容 (福祉医療費助成対象者 [重度心身障がい者及びひとり親家庭] に対して、医療費の自己負担分を助成).

(2) 事務事業の手段・指標

Means and indicators table including: ① 主な活動 (30年度実績, 元年度計画), ② 活動指標 (助成件数, 助成額) with columns for 28年度, 29年度, 30年度, 元年度.

(3) 事務事業の目的・指標

Purpose and indicators table including: ① 対象 (誰、何を対象にしているのか), ② 意図 (対象がどのような状態になるのか), ③ 対象指標, ④ 成果指標.

(4) 事務事業のコスト

Cost table including: ① 事業費の内訳 (30年度決算), ② コストの推移 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他).

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

Environment and resident opinions table including: ① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況), ② 改革改善の経緯 (この事務事業に関して), ③ 関係者からの意見・要望.

事務事業名	福祉医療事業	所属部	市民環境部	所属課	市民生活課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 関連性の多い長寿障がい福祉課及び子ども家庭支援課との連携・連絡体制が欠かさない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 廃止すると医療費の支払いが困難になり、経済面・精神面でも不安定となる者があると想定される。また、医療費がかかることで受診控えが起こり、病気・障がいの悪化を招くことも考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 →	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 廃止または削減すると医療費の支払いが困難になり、受給者の経済面・精神面共に不安定になりかねない。また、医療費がかかることで受診控えが起こり、病気・障がいの悪化を招くことも考えられる。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現状でも最小限の人員で事業を行っている。対象者の拡大や誤受診等による修正など実質業務は増大している。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 福祉医療は島根県の制度であり、平成26年10月に制度改正を実施(①自己負担限度額引き下げ ②対象者の拡大)した。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>福祉医療の対象者は、市民生活課と長寿障がい福祉課、及び子ども家庭支援課のいずれか2課で同時の発生が発生する機会が多い。制度内容が複雑に感じられる場合も多く、協力・連携を行い、対象者の手続きによる負担が減るように努めたい。</p> <p>また、一度申請をされて所得制限により却下となった場合でも、年度が替わったときは新年度所得で再試算をし、該当になる方に勧奨通知を送るサービスを行っている。しかし、年々その人数が増加しており、業務量が増加している。対象者の方にとっては大変有効なサービスのため、現状維持できるよう努めたい。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		